

# 【算数・小5・三角形と四角形】①

## 育成を目指す資質・能力

ひし形の性質に着目して、面積の求め方を説明することができる。

## ICT活用のポイント

面積の求め方を考え、伝え、整理する際に、学習支援ソフトを活用することにより、より多くの考えをもとに、自分の考えを考察することができる。

### 課題把握

【めあて】 ひし形の面積はどのようにすれば求められるだろう

### 自力解決及びペアでの伝え合い

活用①

### 代表的な意見の共有、整理

活用②

### 適用問題

活用③

## 事例の概要

### 【事例におけるICT活用の場面①】

- 各自の面積の求め方をICT端末に送られたカードに書き込む。
- 書き込んだものをペアに見せながら、自分の考えを伝える。
- 自分の考えを見直し、必要に応じて修正し提出する。

### 【事例におけるICT活用の場面②】

- 教師が、代表的な考え方を選び、全員のICT端末に送信し、代表者が説明することで、複数の考え方があることを共有する。
- それら代表的な考え方を、各自思考ツールで、整理する。それぞれの考え方に各自で名前を付ける。

### 【事例におけるICT活用の場面③】

- 適用問題で活用する。
- ペアでそれぞれの考え方を説明する。

## 学習支援ソフト活用

### 【問題送信】

- 【問題解答】
- 【ペア説明】
- 【解答提出】

### 【代表解答送信】

- 【代表者説明】
- 【解答整理】

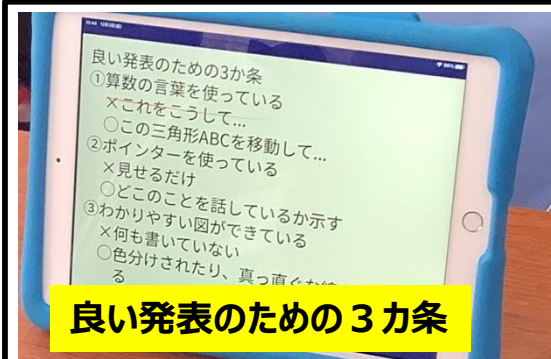
### 【問題送信】

- 【問題解答】
- 【ペア説明】

# 【算数・小5・三角形と四角形】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】

図に示しやすい



良い発表のための3か条

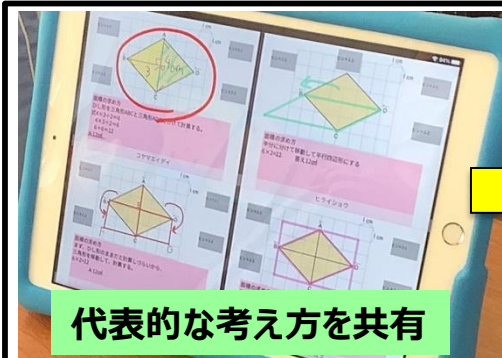


考えの伝え合い

- ICT端末に送られたカードに自分の考えを書き込む。手書き、フリック入力、キーボード入力は各自のやりやすい方法で行う。
- 相手に伝える際のコツ「良い発表のための3か条」を確認する。これは、繰り返し使い学級のルールとしている。自分の考えをペアに見せながら、伝える。ポインター機能を活用し、図を示しながら説明をする。説明後、必要に応じて修正し、提出機能で提出する。
- ☆図形を構成する要素などに着目して説明することができた。

## 【事例におけるICT活用の場面②】

比較しやすい



代表的な考え方を共有



Yチャートで分類

- 提出された考え方の中から、教師が代表的な例を選び、全員のICT端末に送信する。今回は4人の代表者が説明。説明はICT端末上で行う。
- 代表的な考え方4つを、各自Yチャートで整理する。整理した理由を基に名前を付ける。
- ☆整理し、名前を付けることでそれぞれの考え方を振り返ることができた。数学的な見方・考え方を働かせていたといえる。

## 【事例におけるICT活用の場面③】

確認しやすい



適用問題を解く



ペアで振り返り

- 適応問題を解く際には、Yチャートで整理した考え方の中から選び、解く。どのように解いたかを改めて言葉や数、色分けなどで書き加える。
- ペアで考え方を説明することで、本時の振り返りを行う。
- ☆考え方を自分なりに伝えることにより、思考力、判断力、表現力を高めることにつながった。

【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト